

平成26年6月17日（火）
平成26年度 第2回
大阪府河川整備審議会

資料 3

淀川水系 西大阪ブロック河川整備計画 （変更原案）について（骨子）

— 目 次（その1） —

第1章 河川整備計画の目標に関する事項

第1節 流域及び河川の概要

1. 流域の概要
2. 流域の特性
3. 河川の特性

第2節 河川整備の現状と課題

1. 治水の現状と課題
2. 河川利用及び河川環境の現状と課題

第3節 流域の将来像

第4節 河川整備計画の目標

1. 洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標
2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
3. 河川環境の整備と保全に関する目標
4. 河川整備計画の計画対象区間
5. 河川整備計画の計画対象期間
6. 本計画の適用

— 目 次（その2） —

第2章 河川整備計画の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該工事の施行により 設置される河川管理施設の機能の概要

1. 地震・津波対策
2. 河川環境の整備と保全

第2節 河川維持の目的、種類及び施行の場所

1. 河川管理施設
2. 許可工作物
3. 河川空間の管理

第3章 その他河川整備を総合的に行うために必要な事項

第1節 地域や関係機関との連携に関する事項

第2節 河川情報の提供に関する事項

第1章 第1節 流域及び河川の概要

<1.流域の概要>

- 西大阪ブロックは、旧淀川(大川、堂島川、安治川)、土佐堀川、木津川、尻無川、東横堀川、道頓堀川、住吉川および正蓮寺川、六軒家川の9河川からなる。
- 総流域面積298.8km²(寝屋川流域含む)、指定区間延長43.2kmである。

河川延長・流域面積

河川名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)	備考
旧淀川 (大川・堂島川・安治川)	288.0	13.830	流域面積に 寝屋川流域 含む
土佐堀川		2.450	
木津川		8.800	
尻無川		4.100	
東横堀川		2.175	
道頓堀川		2.745	
住吉川	10.8	3.050	
正蓮寺川		4.600	
六軒家川		1.450	
合計	298.8	43.200	

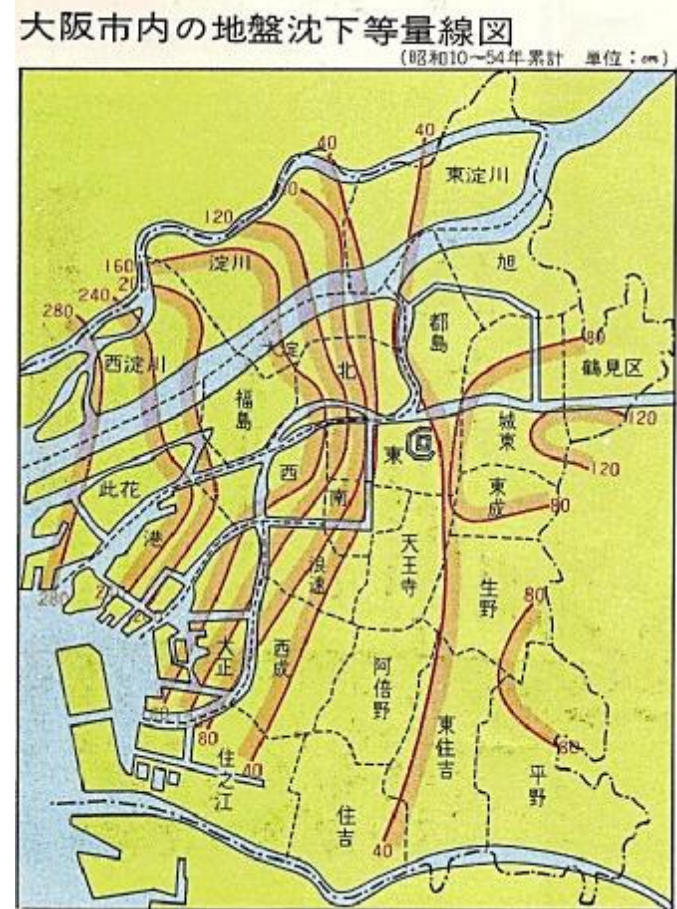
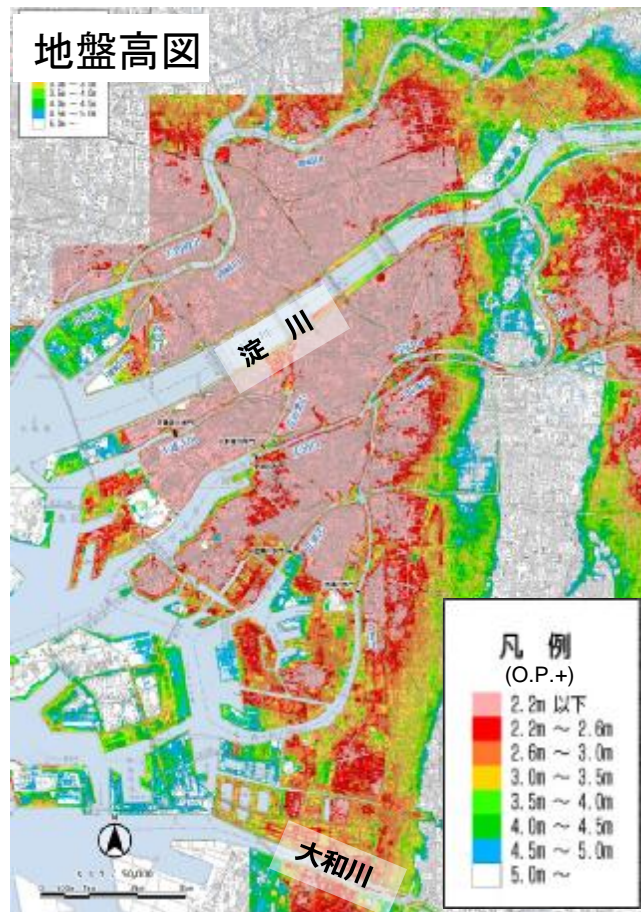


第1章 第1節 流域及び河川の概要

<2.流域の特性>

○地形

- 西大阪ブロックは、大阪平野の河口部に位置している。
- 上町台地を除いては低地帯で海拔ゼロメートル以下の地帯も存在する。
- 地質は、淀川水系、大和川水系の河川によって堆積された沖積層で覆われている。
- 地下水採取により、昭和初期から40年頃にかけて激しい地盤沈下に見舞われた。



出典 大阪高潮対策事業概要 大阪府

第1章 第1節 流域及び河川の概要

<2.流域の特性>

○土地利用



1974年

1985年

1996年

2008年

資料: 電子国土基本図(地図情報)国土地理院

- 高度に市街化が進んでおり、経年的には臨海部で変化がみられるほかは大きな変化はない。
- 他の都市に比べて水面が多いことが特徴である。



第1章 第1節 流域及び河川の概要

<3.河川の特性>○大川

- Ⅰ 大阪アメニティーパークの建設に伴い、船着場と緩傾斜護岸、遊歩道等を一体的に整備した水辺の親水拠点がある。
- Ⅰ 八軒家浜に船着場が整備され「川の駅」として利用されている。
- Ⅰ 毛馬桜之宮公園貯木場跡に、水辺に親しみ、くつろげる空間「大阪ふれあいの水辺」が整備されている。



桜之宮公園の遊歩道



大阪ふれあいの水辺



川の駅 はちけんや

○堂島川・土佐堀川

- Ⅰ 両河川に挟まれる中之島には、中之島公園や大阪中央図書館、中央公会堂などの歴史的な建造物、文化施設があり、水辺の景観形成に寄与している。
- Ⅰ 規制緩和により、北浜テラス、中之島バンクス、中之島にぎわいの森など水辺の賑わい空間の整備が行われた。



中之島公園



北浜テラス



難波橋下流 (中之島、中央公会堂)



中之島バンクス

第1章 第1節 流域及び河川の概要

<3.河川^の特性>

○安治川・尻無川

- Ⅰ ユニバーサル・スタジオ・ジャパンや中央卸売市場などの観光資源として活用できる大規模施設がある。
- Ⅰ 中央卸売市場前に船着場や遊歩道の整備が行われた。



安治川中央卸売市場前



安治川スーパー堤防区間



尻無川スーパー堤防区間（尻無川右岸）



尻無川水門

○木津川・住吉川

- Ⅰ 木津川では、大阪ドームの開発に伴ったスーパー堤防を尻無川と一体で整備している。
- Ⅰ 住吉川の水門上流には、府営の住之江公園が隣接し、河岸には遊歩道を整備していることから、憩いの空間として水辺や公園を利用している人の姿が見られる。



木津川スーパー堤防区間（木津川右岸）



木津川ウォールペインティング



住吉川水門上流側



住吉川遊歩道

第1章 第1節 流域及び河川の概要

<3.河川_の特性>

○東横堀川

- Ⅰ 全川にわたり上空を阪神高速道路の高架橋が占用しており、閉鎖的な空間となっている。
- Ⅰ 今橋から本町橋までの区間は、都市公園が整備されている。
- Ⅰ 平成12年に建設された東横堀川水門は、水位制御や河川浄化などの役割を果たしている。



都市公園



大和橋上流

○道頓堀川

- Ⅰ 難波、心齋橋など大阪屈指の商業エリアを流れている。
- Ⅰ 水辺の魅力拠点として「湊町リバープレイス」や「とんぼりリバーウォーク」等が整備されている。
- Ⅰ 平成12年に建設された道頓堀川水門は、水位制御や河川浄化などの役割を果たしている。
- Ⅰ 平成24年度より民間事業者による遊歩道の管理・運営を実施している。



湊町リバープレイス



とんぼりリバーウォーク

第1章 第1節 流域及び河川の概要

<3.河川<特性>

○正蓮寺川

- Ⅰ 正蓮寺川等総合整備事業における阪神高速道路淀川左岸線の設置に伴い、暗渠化が進められ、現在一部水面を残すのみである。上面は公園整備が計画されている。



正蓮寺川水門



北港新橋下流

○六軒家川

- Ⅰ 河岸はほとんどが矢板護岸で、高い防潮堤により堤内と水辺は遮られている。
- Ⅰ 防潮堤には「このはなアートプロジェクト」として、地元の中学生などによる壁画作成が平成19年度より実施されている。



六軒家川水門



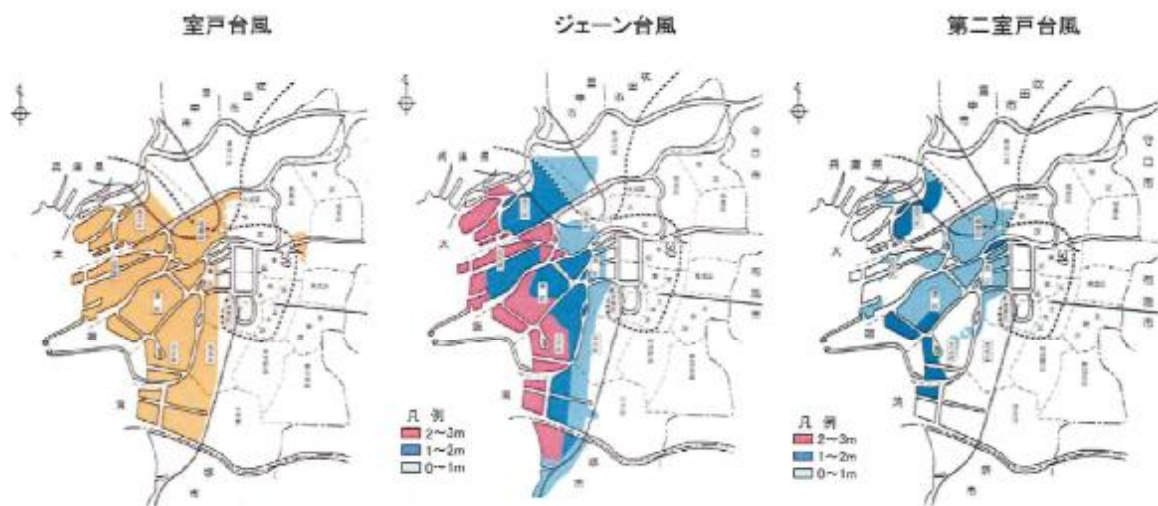
北港通下流

第1章 第2節 河川整備の現状と課題

<1.治水の現状と課題>

○高潮

○ 戦前は室戸台風(昭和9年)、戦後はジェーン台風(昭和25年)、第二室戸台風(昭和36年)の高潮によって大きな被害を受けた。



大阪市域の被害の概要

ジェーン台風(昭和25年)

項目		被害数
建物被害	全壊・流出・半壊	46405戸
	床上浸水	記載なし
	床下浸水	記載なし
人的被害	死者・行方不明者	221人
	重軽症者	18573人

第二室戸台風(昭和36年)

項目		被害数
建物被害	全壊・流出・半壊	1726戸
	床上浸水	約51500戸
	床下浸水	約54000戸
人的被害	死者・行方不明者	6人
	重軽症者	682人

資料: 西淀川区史 平成8年3月15日発行



室戸台風 大正区 木津川上流



ジェーン台風 福島区 野田阪神付近



第二室戸台風 中之島 土佐堀川左岸

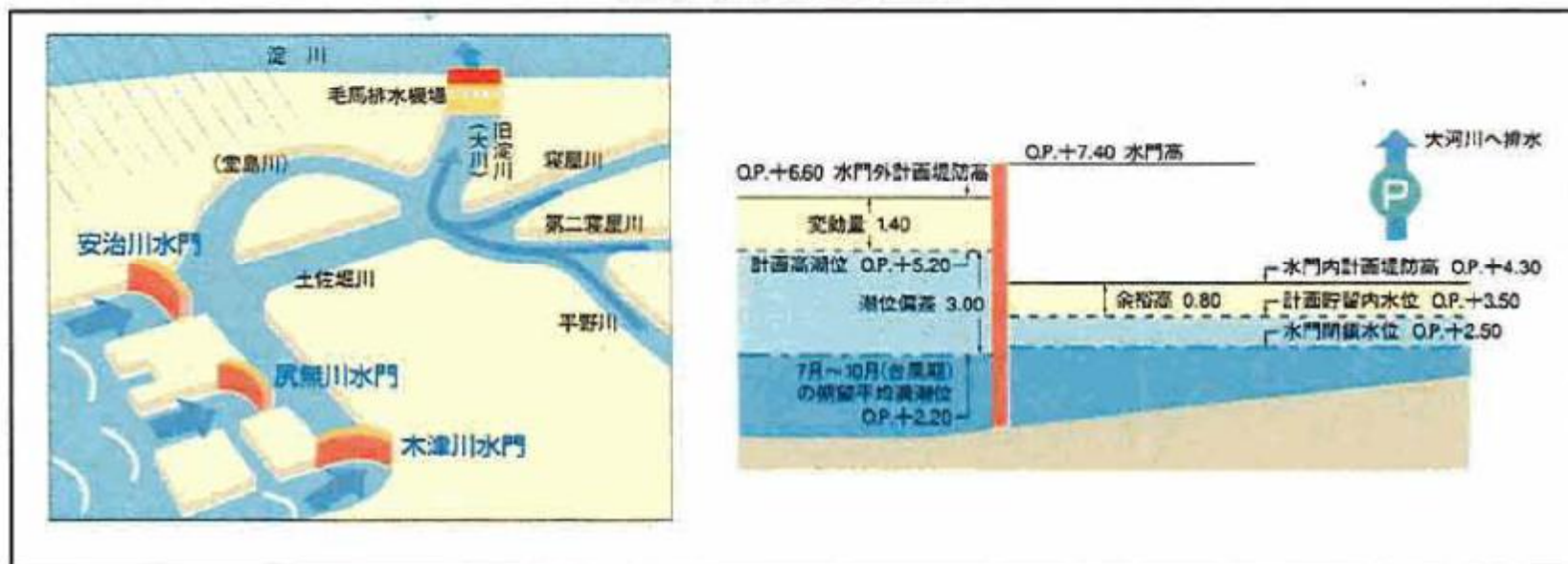
第1章 第2節 河川整備の現状と課題

<1.治水の現状と課題>

○高潮

- 伊勢湾台風規模の超大型台風が室戸台風のコースを通して、満潮時に来襲した場合を想定した高潮(計画高潮位O.P. +5.20m)に対して安全に対処できるよう防潮施設が整備されている。
- 西大阪ブロックの防潮方式は、防潮水門方式を採用しており、高潮時には防潮水門を閉鎖して高潮の遡上を防いでいる。
- 防潮水門閉鎖時には、上流からの流入や市街地からの排水に対応するため、ジェーン台風の実績降雨(最大時間雨量19.8mm)を計画降雨として、O.P.+2.50m~O.P.+3.50m間の河道内での貯留に加え、毛馬排水機場から淀川への強制的な排水を行っている。
- 計画堤防高は防潮水門より下流でO.P.+6.60m、水門より上流でO.P.+4.30mとして整備が完了している。
- 水門の上流側、下流側とも、堤外地が荷揚場に使用されるなど計画堤防高まで防潮堤を嵩上げできない箇所については防潮鉄扉が設置されている。

〔防潮水門方式の概念〕



第1章 第2節 河川整備の現状と課題

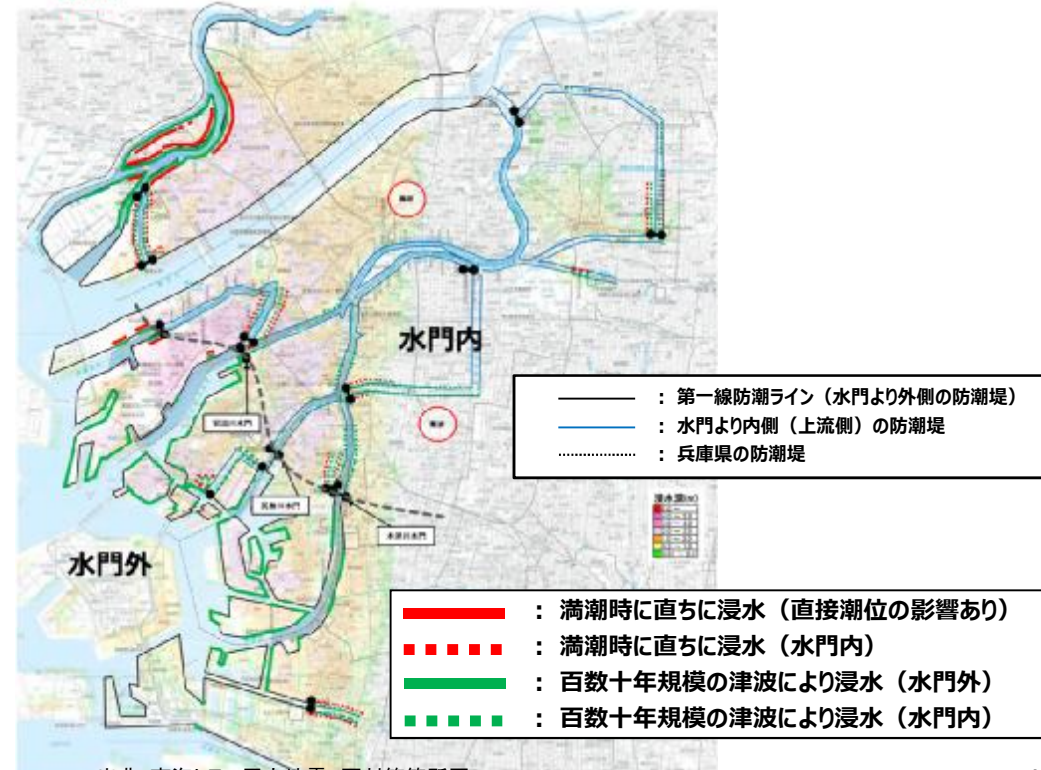
<1.治水の現状と課題>

○地震・津波

- 「大阪府都市整備部地震防災アクションプログラム(H21.3)」にて10カ年で優先的に実施する区間を定め、治水施設の耐震補強を進めている。
- 東日本大震災を踏まえ、津波来襲時には三大水門等の防潮水門を閉鎖することとし、水門操作の信頼性向上のため、遠隔操作化等を実施した。
- 「南海トラフ巨大地震」で想定される地震・津波による河川構造物の照査を実施しており、防潮堤については対策箇所重点化・優先順位付けを行い、耐震工事等を実施する必要がある。



出典：大阪府都市整備部 地震防災アクションプログラム 平成21年3月



出典：南海トラフ巨大地震 要対策箇所図
(第5回大阪府南海トラフ巨大地震土木構造物耐震対策検討部会 平成25年10月)

第1章 第2節 河川整備の現状と課題

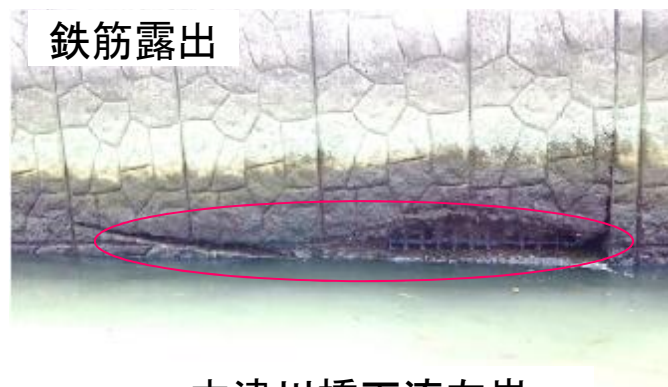
<1.治水の現状と課題>

○維持管理

- 洪水、高潮時等に操作が必要な水門、排水機場、鉄扉などの施設が多い。操作機器等は常に正常に稼働できる状態に保たなければならない。
- 防潮堤、護岸、水門等の治水施設の老朽化が進んでおり、定期的な点検が必要である。
- 災害発生の防止や河川環境の保全の観点から、河川の有する多面的な機能を十分に保持する必要がある。

○構造物点検結果

- ・護岸ブロックの損傷・開きなど



木津川橋下流左岸



大渉橋下流左岸

調査年度:平成25年1月

第1章 第2節 河川整備の現状と課題

<2.河川利用及び河川環境の現状と課題>

○河川敷地利用について

【河川敷地占用許可準則】

<改正前>

行政が事業計画を策定し、行政が占用者となり整備。

例) 毛馬桜之宮公園

<H20.8 社会実験>

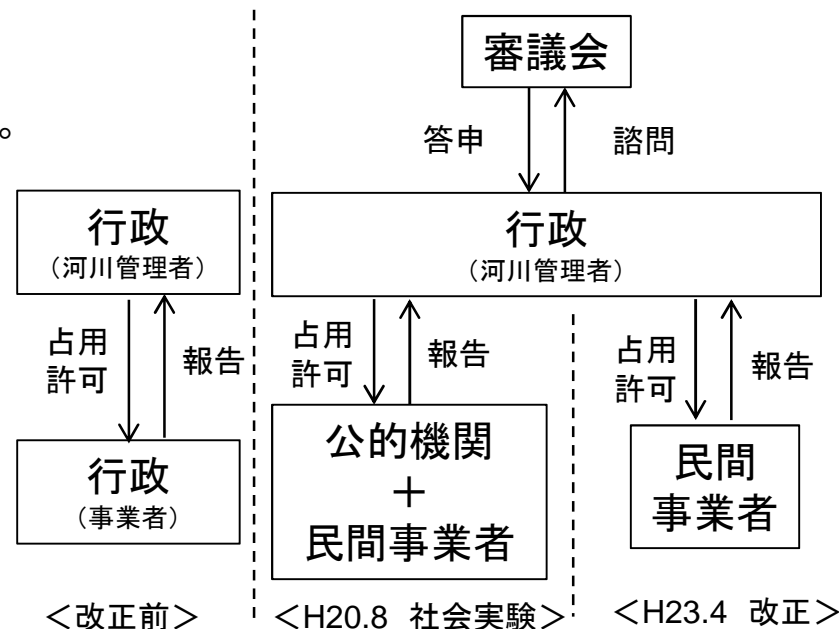
公的機関が民間事業者と契約。公的機関が占用者となり事業者が整備。

例) 中之島バンクス・北浜テラス

<H23.4 改正>

民間事業者が事業計画を立案、占用者となり整備。

例) 裁判所前



第1章 第2節 河川整備の現状と課題

<2.河川利用及び河川環境の現状と課題>

○河川空間の利活用

- 平成23年4月の河川敷地占用許可準則の緩和に伴い、地域が要望し行政が手続きを行ったエリアにおいて、民間事業者が占用者となって河川区域内で事業計画を立案、施設整備することが可能となった。
- 民間事業者等のニーズに応じて官民が協議のうえで設定した事業エリアの整備を両者が分担して実施するなど、河川空間の利活用事業の促進及び水辺の賑わい創出に協力する必要がある。

○流水の正常な機能の維持

- 淀川から旧淀川(大川、堂島川、安治川)に最大70m³/s、正蓮寺川に最大7.0m³/s、六軒家川に最大15.0m³/sの維持流量の導水が行われている。
- 寝屋川からの流入水に比較して水質の良い淀川からの導水は、対象河川の水質改善や動植物の生息・生育環境の創出に寄与しており、今後も引き続き導水量の確保に努める必要がある。

第1章 第2節 河川整備の現状と課題

<2.河川利用及び河川環境の現状と課題>

○水質・底質

- 土佐堀川が環境基準のC類型(BOD 75%値_5mg/l以下)に、大川、堂島川、安治川、木津川、尻無川、正蓮寺川、六軒家川、道頓堀川、東横堀川、住吉川がB類型(BOD75%値_3mg/l以下)に指定されている。
- 中之島地域の水質改善についての関心は高い。(平成21年度Webアンケート調査結果)
- 平成24年度の水質調査結果(BOD75%値)では、全地点で環境基準を達成しているが、更なる水質の改善に向けて取り組む必要がある。
- 平成24年度は道頓堀川でダイオキシン類の環境基準値(150pg-TEQ/g)を上回っており、底質の浄化対策に関して、調査、検討を行う必要がある。

○自然環境

- 流域の大部分が市街地で占められており、自然植生の群落はほとんど見られない。
- 大川の「大阪ふれあいの水辺」周辺では、ウキゴリなどの貴重な魚類やトンガリササノハガイなど貴重な底生生物が確認されている。
- 重要種の保全に配慮した自然再生やブラックバス、ブルーギルなど外来種の駆除などが求められている。

<大阪府、大阪市の将来像>

- 将来ビジョン・大阪（平成20年12月 大阪府）**
 - 河川環境の改善等による水とみどりのネットワーク、みどりの拠点の創造

- グランドデザイン・大阪（平成24年6月 大阪府・大阪市）**
 - 都心から周辺山系へとつながるみどりの都市軸の形成
 - 実感できるみどりの創出、親水空間の創造

- 水都大阪 水と光のまちづくり構想（平成23年8月 水都大阪推進委員会）**
 - 「水都を誇りにするライフスタイルが根づくまち（シビックプライドの向上）」
 - 「水都を楽しむ遊びと心ともてなしの心が来訪者を惹きつけるまち（滞在型観光集客）」
 - 「水都の魅力が人材と投資を集めるまち（経済活性化）」

- 大阪21世紀の新環境総合計画（平成23年3月 大阪府）**
 - 生物多様性についての府民理解および生物の生息環境の保全・回復への行動の促進
 - 流域の特性に応じた水質、水量、水生生物、水辺等を総合的に捉えて対策を推進

- 新・大阪市緑の基本計画（平成25年11月 大阪市）**
 - だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの基盤”の構築
 - みどりを市内及び周辺へつなげていく“みどりのネットワーク”の構築

第1章 第4節 河川整備計画の目標

<1.洪水、高潮等による災害の発生防止または軽減に関する目標>

○地震・津波対策

○ L1(レベル1)地震動に対して

- 堤防、水門、排水機場等の全ての河川管理施設が健全性を損なわないこと。

※L1(レベル1)地震動:

構造物の供用期間中に発生する確率が高い地震動

○ L2(レベル2)地震動【内陸直下型及び海溝型】に対して

- 堤防については、地震後においても、L1(レベル1)津波高以上の高さを確保する。
- 水門、排水機場については、開閉及び排水の機能を保持すること。

※L2(レベル2)地震動:

対象地点において現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動
そのうち海溝型については南海トラフ巨大地震と定義されている。

※L1(レベル1)津波:

数十年から百数十年に一度程度で到達すると想定される津波

第1章 第4節 河川整備計画の目標

<2.河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標>

○河川空間の利活用

- 平成23年4月の河川敷地占用許可準則の緩和に伴い、地域が要望し行政が手続きを行ったエリアにおいて、民間事業者が占用者となって河川区域内で事業計画を立案、施設整備することが可能となった。
- 民間事業者等のニーズに応じ、官民が協議のうえ事業エリアの設定を行い、両者の適正な役割分担の下で必要な整備を実施する。

- ・民間事業者等： 利活用事業の主体としてエリアの選定を含む計画の提案を行い、利活用及び景観に係る施設整備を実施
- ・大阪府・大阪市： 民間事業者等と協議のうえ事業エリアを選定し、利活用事業と整合のとれた基盤整備を実施

- 上記のスキームにより、遊歩道の整備や舟運の活性化等を図るなど、水辺の賑わい創出に協力する。

○流水の正常な機能の維持

- 水質の良い淀川からの導水は、対象河川の水質改善や動植物の生息・生育環境の創出に寄与していることから、今後もより効果的な導水の運用に努める。

第1章 第4節 河川整備計画の目標

<3.河川環境の整備と保全に関する目標>

○水質・底質

- 上流域の寝屋川流域で策定されている「寝屋川流域水環境改善計画(H24.5)」の取組みとも連携しながら、水質環境基準の達成・維持に努め、さらなる水質の向上に努める。
- ダイオキシン類の環境基準値を上回る底質の浄化対策については、「大阪府河川及び港湾の底質浄化審議会」での審議に基づいて検討を行い、安全な水辺環境の創出を目指す。

○自然環境

- 大川の「大阪ふれあいの水辺」における貯木場跡地など、ブロック内において比較的豊かな自然環境が残る空間については、住民との協働によって、それらの持つ自然環境機能の保全、向上に努める。

○維持管理

- 河川の特長や施設の劣化状況を踏まえつつ、計画的な維持管理を行い、災害の発生を未然に防ぐ。

第1章 第4節 河川整備計画の目標

<4.河川整備計画の計画対象区間>

○ 本計画の対象河川は、西大阪ブロック内の全ての一級河川とする。

<5.河川整備計画の計画対象期間>

○ 本計画の対象期間は、計画策定から概ね30年とする。

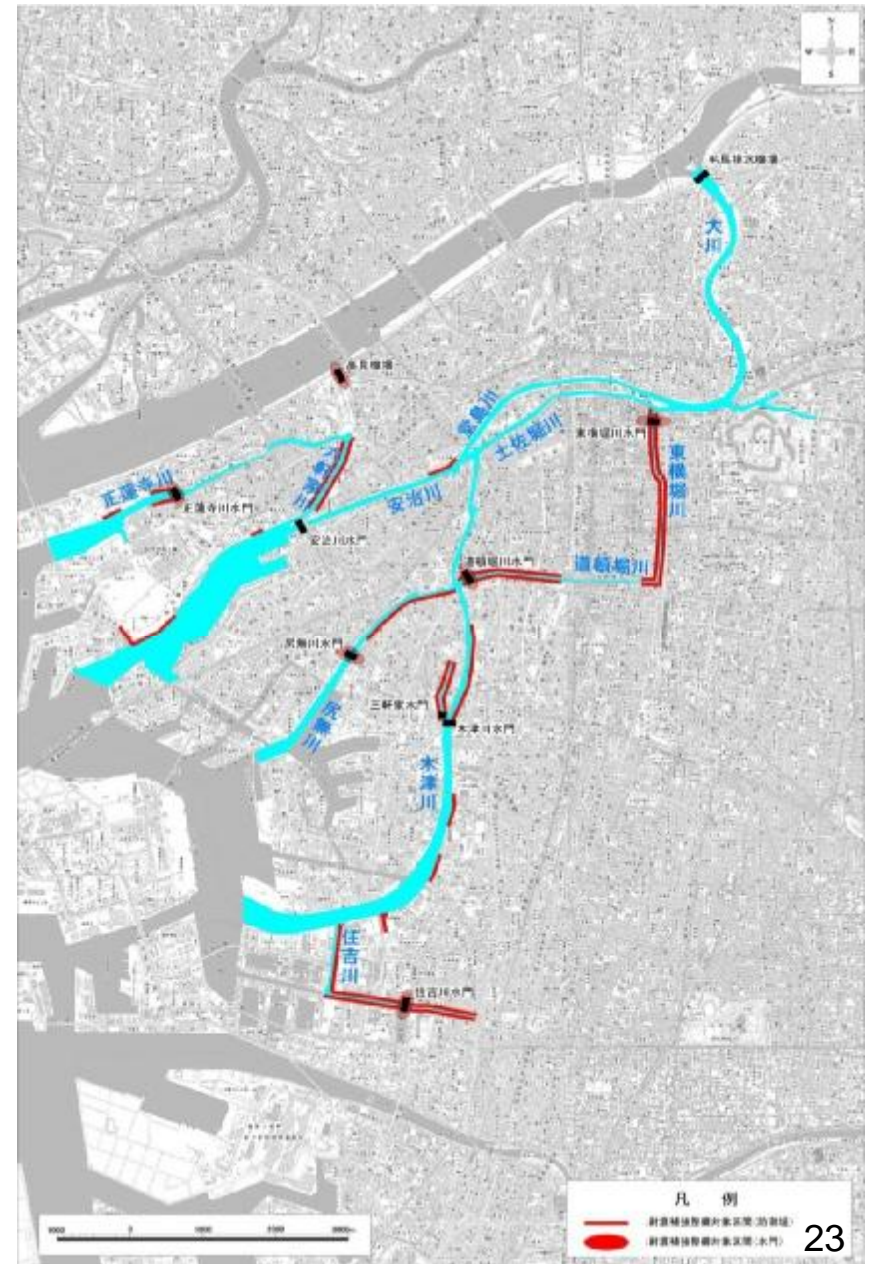
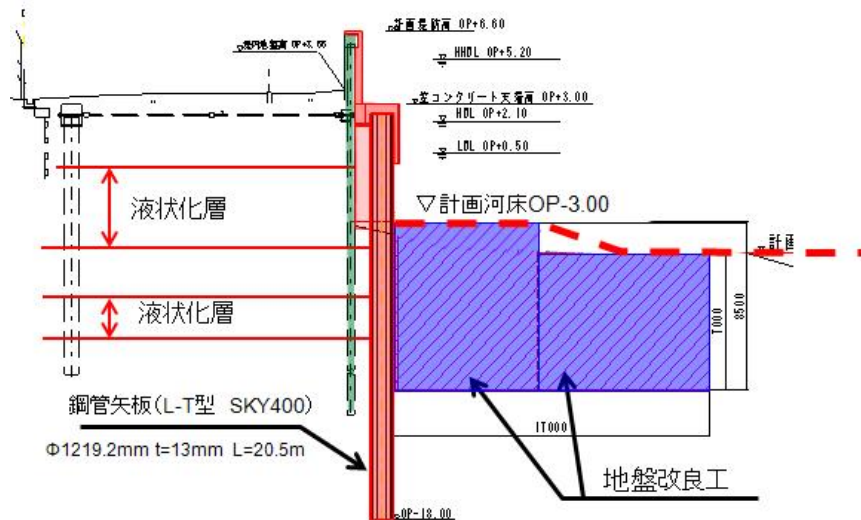
<6.本計画の適用>

○ 計画策定後の状況の変化や新たな知見・技術の進歩等によって、適宜計画の見直しを行う。

第2章 第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

<1.地震・津波対策>

河川名及び施行場所		整備対象区間	事業内容	整備主体	整備延長
旧淀川	あしがわ 安治川	中央卸売市場前、春日出南、USJ前	防潮堤耐震補強	大阪府	1.70km (※一部耐震照査中)
木津川		全川	防潮堤耐震補強	〃	3.10km (※一部耐震照査中)
尻無川	しりなしがわ	尻無川水門	水門耐震補強	〃	-
		全川	防潮堤耐震補強	〃	1.68km
正蓮寺川	しょうれんじがわ	正蓮寺川水門	水門耐震補強	大阪府	-
		正蓮寺川水門から下流	防潮堤耐震補強	大阪府	1.15km
六軒家川	ろっけんやがわ	全川	防潮堤耐震補強	大阪府	2.46km
東横堀川	ひがしよこぼりがわ	全川	防潮堤・水門耐震補強	大阪市	4.35km
道頓堀川	どうとんぼりがわ	道頓堀川水門から湊町 日本橋から上大和橋	防潮堤・水門耐震補強	〃	3.40km
住吉川	すみよしがわ	住吉川水門付近から下流	防潮堤・水門耐震補強	〃	2.85km



第2章 第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

<2.河川環境の整備と保全>

「河川空間の利活用については、民間事業者等のニーズに応じて、官民が協議のうえ事業エリアを設定し、両者の適正な役割分担の下で必要な整備を実施する。」

【大阪府及び大阪市が整備主体として行う事業】

河川名及び施行場所	実施区間	事業内容	整備主体
ブロック内全河川	全川	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道整備、船着場整備 ・護岸緑化等 ・スーパー堤防整備 ・ダイオキシン類等底質浄化対策 	大阪府及び大阪市 (各河川管理者)
正蓮寺川	正蓮寺川水門 ～嬉ヶ崎橋上流	<ul style="list-style-type: none"> ・河川ボックス整備 ・公園等整備 ・下水処理場ポンプ場、下水道ボックス整備 	大阪府(河川管理者) 大阪市 (公園・下水道管理者等)

※ スーパー堤防及びこれに伴う環境整備は、沿川地域の再開発等と調整が図れた箇所について実施する。



中之島GATE<イメージ図>
中之島西端の剣先シンボル化
水辺空間のにぎわい創生



本町橋BASE<イメージ図>
まちなかを楽しむ小型船基地

第2章 第2節 河川維持の目的、種類及び施行の場所

<1.河川管理施設>

- 大阪府管理の水門については、出水期については月2回、非出水期については月1回の定期試運転を実施する。他の施設についても定期的に点検を実施する。
- 樋門・防潮鉄扉等については、高潮防御訓練や津波防御訓練を行う等、操作の習熟に努める。
- 維持管理の基本となる河道特性や河川管理施設の情報を整理・蓄積し、河川カルテを作成する。
- 維持管理計画を策定して、計画的かつ効率的な維持管理を行い、河川管理施設の長寿命化につながる対策に努める。

<2.許可工作物>

- 河川の占用工作物については、治水上、河川管理上支障とならないよう適切な許認可を行う。

<3.河川空間の管理>

- 河川利用を妨げ、景観や水質にも問題となる不法投棄や浮遊ごみについては、適切に処理する。
- 協働による河川清掃などの河川環境の保全及び維持管理が行われるよう努める。
- 舟運などの水面利用に配慮し、河川内の水面下の構造物については、接触による事故防止のため、注意を喚起する表示板やブイの設置などに努める。

第3章 第1節 地域や関係機関との連携に関する事項

○防災

- 高潮や津波などの水害からまちを守るため、地元の水防団や民間の鉄扉利用者により防潮鉄扉の操作が行われている。
- 非常時に迅速な対応ができるよう訓練を実施し、施設操作の習熟と連携強化に努める。
- 津波・高潮ステーション等を活用して、日頃から施設操作の重要性についての認識が深まるよう啓発に努める。

○水都大阪

- 平成23年8月に策定された「水都大阪 水と光のまちづくり構想」に基づき、世界に誇る水都大阪ブランドの確立を目指し、住民、NPO法人、企業、経済界及び行政が一体となって様々な取り組みを行っている。
- 「とんぼりリバーウォーク」、「北浜テラス(大阪川床)」、「中之島バンクス」などの水辺拠点施設を活用し、民間活力による賑わいの創出を行うため、様々な取り組みに協力している。
- 「水の都・大阪」の魅力を広く伝えるためのシンボルイベントなどの開催に協力し、水の都再生の核となる魅力ある水辺創出や、府市連携した水上交通の活性化や航行ルールの策定を行う。
- 河川利用の促進に向けて地域住民や関係機関との一層の連携に努める。

第3章 第2節 河川情報の提供に関する事項

○津波・高潮ステーション

- ・津波・高潮ステーションを活用し、津波・高潮に関する府民の防災意識の向上を図る。

※津波・高潮ステーション:

- ・津波・高潮災害に関する啓発拠点となる施設。
- ・大阪を襲った高潮や、近い将来必ず大阪を襲うと言われている東南海・南海地震とともに、地震、津波発生時の対応などを学べる、広く開かれた施設。



高潮被害トンネル



津波災害体感シアター(ダイナキューブ)